

【2型糖尿病患者の特性の解析～糖尿病教育入院クリニカルパス患者群のデータから～】

研究の概要：

2型糖尿病は急性心筋梗塞などの大血管障害や腎障害などの細小血管症を発症する生活習慣病の代表的な疾患です。また糖尿病治療内容や社会背景も経年的に変化しています。本研究は2型糖尿病の昔の患者さんと近年の患者さんの身体特性を解析して、糖尿病患者さんに及ぼす影響について検討することを目的としています。

研究対象：

昔群・2002年～2005年の連続281名と、近年群・2016年～2019年の連続226名の相澤病院の糖尿病センターに入院し、糖尿病教育入院クリニカルパスを適応した2型糖尿病患者さんの診療録を対象とします。

研究の意義：

糖尿病は冠動脈疾患などの危険因子ですが、糖尿病以外にも脂質異常症や肥満なども危険因子としてあります。当院での糖尿病患者さんを検討し、昔と近年の身体特性の違いを明らかにすることは、臨床上の判断に有用であると考えられます。

研究の目的：

本研究は、糖尿病教育入院クリニカルパスを適応した2型糖尿病患者について検討し、昔と近年で、身体特性に及ぼす影響について検証することを目的としています。

研究の方法および内容：

相澤病院の診療録データベースを利用して、診療録より必要な情報（性別、年齢、BMI、脂質値、HbA1c）を収集し、統計学的な解析を行います。また対応する一般人口のデータとして当院の人間ドックの受診者のデータも解析します。情報収集の作業に当たっては担当者がこれを行います。

個人情報に関する配慮：

人体から採取された試料ではなく、診療録を主とした既存資料を研究に用います。閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されない方法で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用で別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

研究責任者：文沢 靖

〒390-8510 長野県松本市本庄 2-5-1

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 内部疾患リハ科 文沢 靖
TEL 0263-33-8600(代表) / FAX 0263-32-6763